

研究ノート

ことわざを用いた留学生への生活指導

How to use Japanese proverbs in overseas students' practical guidance for
daily life in Japan

佐古 恵里香

Sako Erika

京都外国語専門学校

Kyoto Career College of Foreign Languages

織田 力

Orita Riki

日本語談話会

Nihongo Danwakai

要旨：本研究では、留学生に学習してほしい生活に役立つことわざをアンケート調査により選出し、ことわざを留学生の生活指導に取り入れることの意義を考察する。最初に、日本語文型が易しく生活指導と関連することわざを選出し、それを元に100名の日本人にアンケート調査を行う。それらの結果から、ことわざを用いた生活指導の可能性や今後の課題について言及をする。

Abstract: This study investigated what kind of Japanese proverbs are necessary to know for overseas students in Japan and more practically how to use these proverbs for their practical guidance for daily life. At first, 73 grammatically easier proverbs in Japanese are picked up and then making a questionnaire. At the survey, 100 Japanese people answered it. These results mentioned to the possibility of the proverbs using for practical guidance for daily life in Japan.

キーワード：ことわざ、留学生、アンケート調査

Keyword : Proverbs, Oversea students, Survey, Study Japanese

1. はじめに

1.1. 日本への留学生増加

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)より 2016 年に公表された「平成 28 年度外国人留学生在籍状況調査等について」によると、日本国内における留学生は 239,287 人で、前年比 30,908 人(14.8%)も増加している。国籍にも変化があり、以前は、中国や台湾といった漢字圏の留学生が大半を占めていたが、現在は、ベトナム、ネパールやインドネシアなど非漢字圏の学生の割合も増えつつある(JASSO 2016)。本研究で留学生というのは上機構により定義された学生のことである。以前にも増して多様な文化を背景に持つ留学生たちが、限られた期間とはいって日本で生活をするようになっている。そのため、留学生と日本人がお互いによりよく暮らすためには、日本人が多文化を受け入れることと同時に、留学生が日本文化を理解することが重要であろう。

1.2. 問題提起

本研究では、日本文化理解の 1 つの方法として、ことわざの教訓性に注目し、ことわざを留学生の日本文化学習の一環として、特に生活指導に取り入れる意義について考察する。『ことわざ検定 公式ガイドブック下巻』(2012, p13-19)によると、日本には 5 万以上のことわざがあると言われており、そのうち比較的よく使われていることわざは、8000 程度ある。では、このようにたくさんあることわざの中から、留学生はどのようなことわざを学習したら日本文化についてよりよい理解が得られ、生活指導として生きるのだろうか。それを見つけるために、日本語学習者の 6 割以上が使用する語学教材の『みんなの日本語第二版』の日本語文型と『ことわざ検定 公式ガイドブック上巻』にあることわざから、文型とことわざの対照表を作成し、それを基準に日本人へ「留学生に学習してほしいことわざ」のアンケート調査を行った。それらの結果の考察より、ことわざを用いた生活指導の意義について言及したい。

2. アンケート調査にあたって

2.1. 留学生のことわざ学習の現状

留学生のことわざ学習の現状については、留学試験や日本語能力試験にはことわざの問題が無いので、ことわざを自主的に学習する機会は少なく、日本語能力試験において最高級である 1 級を取得してもことわざを 1 つも知らないという留学生もいる。(日本ことわざ文化学会編『教育とことわざ』(人間の科学, 2011, p193-194) さらに、日本語教師の立場からも、試験や教科書に出ないので、授業中にことわざを教える機会を設けることが難しい。少ない機会で最大限の効果を得るためにには、教えたいことわざの選出が必要であろう。

2.2. アンケート調査の目的

今回のアンケート調査の目的は以下の 2 点である。

- ・日本人が留学生に学習してほしいことわざを明らかにすること
- ・ことわざを使って生活指導をする意義を探すこと

この 2 点を検証すべく、アンケートでは日本人に対して、留学生が知っていると便利だと思うことわざについて質問をしている。そして、日本人の回答から得られたことわざを使って留学生へ生活指導をするための示唆を得るようにしたい。そのため今回のアンケート調査を作成するにあたり、ことわざを選出する方法を工夫し、生活指導に役に立つと思われそうなことわざを 73 用意することで回答の分散を抑えた。

2.3. アンケート調査実施期間

アンケート調査を実施した期間は、2016 年の 12 月からの 4 か月間である。アンケート対象者は、関西地方に住む 20 歳から 70 歳までの日本人の男性 22 名、女性 78 名、合計 100 名である。年代の構成比率は、20 代 26%、30 代 15%、40 代 15%、50 代 8%、60 代以上 36% である。アンケートの実施項目については<参考資料 1>を、アンケート対象者については<参考資料 2>を参照されたい。

2.4. アンケート調査の調査方法

アンケート用紙は、フェイスシートと質問本体の 2 部構成である。フェイスシートは、性別、年齢、職業、居住地の 8 項目で構成した。質問は、8 個を用意し、それぞれ二者択一式回答、多項目選択式回答、自由記述回答になるように作成した。タイトルは「ことわざと留学生に関するアンケート」とし、配布方法は手渡しで、A3 に両面印刷したものを配り、必要以上の情報は話さず、その場または後日郵送にて回収をした。その調査情報は、項目ごとにまとめエクセルで管理した。

2.5. ことわざの選出方法

質問 3 の「裏面のことわざより、留学生が知っていると便利だと思うことわざを 3 つ教えてください。番号を書いてください。」については、ことわざの選出にあたり、以下の 4 点を考慮し 73 のことわざを『ことわざ検定 公式ガイドブック上巻』より選出した。

- (1)ことわざの文型が簡単であること
- (2)直接的または間接的に教訓性のあること
- (3)絵や補足で理解を促しやすいこと
- (4)日本人がよく知っていること

2.5.1 (1)の選出例について

ことわざ検定4級～6級で紹介されている中でかつ、初級の日本語教科書で学習できる簡単な文型を使ったことわざを選んだ。<参考資料5>を参照。

(例) 花より団子

意味：風流や外観より実利や実質が優先することのたとえ

級：6級

文型：初級の教科書である「みんなの日本語初級I 第2版」12課で比較の「AよりB」を学習するため、簡単な文型であるといえる。

Figure 1 文型の例

2.5.2. (2)について

直接的な教訓ことわざの例

- ・負けるが勝ち
- ・良薬は口に苦し

間接的なことわざの例

- ・花より団子
- ・塵もつもれば山となる

2.5.3. (3)について

絵などを使って補足や説明しやすいことわざを選んだ。

2.5.4. (4)について

日本人がよく知っていることわざの選出にあたり、『ことわざ検定 公式ガイドブック上巻』で紹介されていた12のことわざを取り入れた。時田(『ことわざ検定 公式ガイドブック上巻』(2011, p27))によると、これらは、新聞・テレビ・雑誌などの情報機関で1年間に50回以上使用されているよく使われていることわざである。この選出には日本語文型のレベルを考慮に入れていない。

一石二鳥，三度目の正直，寝耳に水，背水の陣，目白押し，二の舞，しのぎを削る，絵に描いた餅，背に腹は代えられぬ，棚からぼた餅，歯に衣きせぬ，二足のわらじ

Figure 2 よく使われている12のことわざ

2.5.5 期待される回答

今回の調査の目的は、生活指導に役に立つことわざなので、日本人がよく知っていることわざは上位には来ない可能性がある。早起きは三文の得のような、教訓性のあるものが

上位にくると予想される。

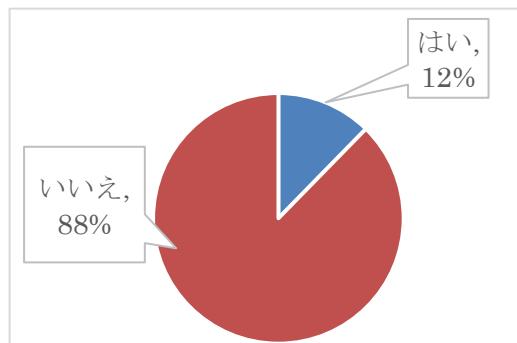
2.6. アンケート調査の結果と分析

2.6.1. どれぐらいの人が留学生へことわざを教えたことがあるか

まず、質問1と2にてどれぐらいの人が留学生へことわざを教えたことがあるかを知るための質問を用意した。「留学生へことわざを教えたことがありますか?」という質問と、「はい」と答えた人に具体的なことわざを教えてもらうため「はいの方はどんなことわざを教えましたか。また、どうしてですか。具体的に教えてください。」という質問を用意した。ふたつの質問に対する回答はそれぞれ右の図の通りである。

88%の人が留学生へことわざを教えたことがないと答えた。日本語がつたない留学生へことわざを教えても伝わらないだろうという意識がわかる。また、「はい」と回答した人のうち、日本語教師の割合は95%であることから、日本語教師以外の人が留学生へことわざを使うことがほぼないという結果である。

では、どのようなことわざを具体的に教えたことがるのだろうか。数は少ないが2名よりそれぞれ、「猫に小判、猫の額、猿も木から落ちる、馬耳東風、犬猿の仲」などの教科書の内容に合わせたものを教えたことがある、ことわざの授業で教えたなどの日本語教師



らしい回答が見られた。詳しい回答は<参考文献3>を参照されたい。

Figure 3 「留学生へことわざを教えたことがありますか」の回答

2.6.2. 留学生が知っていると便利だと思うことわざは何か

質問3にて、留学生に学習してほしいことわざを質問した。回答は、以下の通りである。選出した73のことわざのうち1票でもはいったことわざは62あった。自分たちがよく使う12のことわざよりも、礼儀、挨拶、我慢の意味が含まれることわざを学習してほしいということが明らかになった。どうして、このような結果になったのだろうか。

日本人は、ことわざを自分自身の戒しめのことばとして使用しており、教訓性の高いこと

わざを学習してほしいとして挙げているのではないか。

以下は、投票数が多かったことわざを順に表してある。

順位	ことわざ	割合
1	郷に入っては郷に従え	29%
2	親しき仲にも礼儀あり	17%
2	継続は力なり	17%
3	聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥	14%
4	一石二鳥	13%
4	百聞は一見にしかず	13%
4	十人十色	13%
4	失敗は成功のもと	13%
4	石の上にも三年	13%
5	時は金なり	8%
5	礼に始まり礼に終わる	8%

Figure 4 留学生に学習してほしいことわざ

特に多かった、「郷に入っては郷に従え」や「親しき仲にも礼儀あり」などの、礼儀作法やモラルについての理解は、日本に住むためにはかかせないだろう。一方、受け入れる日本人側のモラルの向上からか「十人十色」など考え方や好みは人それぞれ違うものだ、という留学生への配慮もみられた。

2.6.3. 生活指導に役立つことわざを知るために

質問5にて「留学生に知ってほしい生活習慣を教えてください。」という質問を用意し、日本人がどのような生活習慣を留学生へ学習してほしいと思っているのかを探り、選出されたことわざとを生活指導の意義の判断材料にした。それに加え、質問6では「その生活習慣をことわざで表せますか。具体的に教えてください。」と回答者の考えることわざと生活習慣の関係について質問した。ふたつの質問に対する回答はそれぞれ以下の通りである。

挨拶(32%)、時間を守る(23%)、ゴミの分別(11%)、靴を脱ぐ(13%)、早寝早起き(3%)、そのほかの日本文化(18%)についてなどが挙げられる。挨拶は、礼に始まり礼に終わるということわざが最も多い回答だった。時間を守るは、「時は金なり」を挙げた回答者が多かった。

生活指導と学習してほしいことわざには類似点がいくつかみられた。まず、郷に入っては郷に従えは、日本のルールに従ってほしい、日本の生活習慣を知ってほしいという気持ちの表れとみなすことができるだろう。ゴミの分別などを指導するときに役に立つだろう。

2.6.4. 好きなことわざを質問

質問7と8にて「あなたの好きなことわざを1つ教えてください」という質問を用意した。この質問の回答の多くは、自分自身への戒めとして使用するようなことわざであった。特に、十人十色を選んだ回答者からは、文化や個性を人には様々な性格や生い立ち、考え方があり、そうした人の集まりで社会が成り立っているのでそれぞれの個性をみとめるべきと考えるからなど、異文化理解の傾向がみられる回答もあった。

3. 考察察

3.1. 社会心理学からの考察

質問4にて、そのことわざを選んだ理由を質問した。一番投票数の多かった「郷に入つては郷に従えのことわざ」についての理由を考察する。のことわざは、英語では「When in Rome do as the Romans do.」といい、世界約21か国で同じような意味のことわざがある。穴田(『ことわざ社会心理学のすすめ』(明治大学講座, 2018, Web p1)によれば、たとえばある地域や社会、あるいは特定の集団の皆が使い、その意味を共有していることわざは、その地域や社会、あるいは特定の集団を構成する成員の共有感覚としての言葉であり、それはまさに社会心理を表しているといえる。同じような意味をもつことわざが世界各地にあるということは、はじめて日本へ着た留学生がのことわざの意味を知り理解することは、比較的簡単に考えられる。同様に、教訓性があることわざは受け入れられやすいだろう。

3.2. ことわざと生活指導

ことわざを生活指導に取り入れるには、どのようなことわざをいつ教えるかということが大切だろう。そのためには、あらかじめよく使うことわざを表にしてまとめ、学習してもらい、その状況が発生した時にすぐにそれにあったことわざで指導することが望ましいだろう。このように2段階のステップを踏むことで、留学生は初めて聞いた時の驚きが少なくなり、思い出してもらいやすくなるだろう。

上記のアンケート調査結果を元に、優先度の高いと思われる54のことわざを選出した。それらが留学生の生活指導でどのように使えるかどうか、どのような時に使用することわざかを基準に、ことわざを分類し表を作成した。

文化理解の一環として、これらのことわざを留学生が学習することにより、日本人は、挨拶・礼儀を重んじていることを理解できるようになるだろう。日本人が何気なく行っている内と外の使い分けを理解するのは難しいだろうが、コミュニティの中にいる人たちへの挨拶などは、ことわざにより歴史的に挨拶が大事であるという意義を知ってもらうことは重要であろう。

生活習慣	ことわざ
挨拶	「親しき仲にも礼儀あり」「礼に始まり礼で終わる」「継続は力なり」
早寝早起き	「早起きは三文の得」「一石二鳥」
時間を守る	「時は金なり」
ルールを守る(ゴミ分別)	「郷に入りては郷に従え」
靴を脱ぐ	「失敗は成功のもと」「立つ鳥後を濁さず」
生活を豊かに、新しい人と出会う、挑戦	「笑う門には福来る」「十人十色」「百聞は一見にしかず」
勉強を頑張る	「継続は力なり」「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」「石の上にも三年」「失敗は成功のもと」

Figure 5 生活習慣に基づいたことわざの分類

3.2. 留学生のことわざ学習機会について

政府の掲げる留学生30万人計画に基づき、年々留学生の数が増加傾向にある。それに伴い、留学生が日本語という言語の習得だけでなく、日本文化を理解することの重要性はさらに問われることになるだろう。ことわざは、日本語学習と日本文化の橋渡しを担うことが可能であろう。

もちろん、ことわざを教える機会の一番高い日本語教師が、学習者にはまだ難しいからと、あまりことわざ教育に関心を持っていないことは問題である。そのため、教師のことわざ教育の関心、教える意義をもってもらえるよう働きかけることが大切だろう。

4. 今後の課題

今後は、ことわざを用いて生活指導を行うAグループと、ことわざを用いずして生活指導を行うBグループに分け、生活指導の定着率の比較検証を行う。内容は、それぞれのグループの留学生にワークショップ形式で生活に必要なことを学習してもらい、1週間後、インタビュー調査によってどちらのグループがより内容を理解し定着しているかを調査したい。言葉の定着は、個人差も要因になるので、この結果より全ての効果がことわざを用いたことによるとは証明できないが、母数を増やすことで精度を上げることが可能であろう。今後、研究ていきたい。

参考文献

- 時田昌瑞監修・著『ことわざ検定 公式ガイドブック上巻 4級～6級』(シンコーミュージック・エンターテイメント、2011)
 時田昌瑞監修・著 山口政信・著『ことわざ検定 公式ガイドブック下巻 1級～3級』(シンコーミュージック・エンターテイメント、2012)

日本ことわざ文化学会編『教育とことわざ』(人間の科学、2011)
スリーエーネットワーク・編著『みんなの日本語初級 I 第2版』(2011)
スリーエーネットワーク・編著『みんなの日本語初級II 第2版』(2011)
穴田 義孝・著『ことわざ社会心理学』(人間の科学社; 新装普及版 (1996)
穴田 義孝 ことわざ社会心理学のすゝめ<<https://academy.meiji.jp/course/detail/3511>>
2018年5月28日アクセス
北原保雄 編著『明鏡 ことわざ成句使い方辞典』(株式会社大修館書店、2007)
故事ことわざ辞典(2018)<<http://kotowaza-allguide.com/>>2017年10月26日アクセス
独立行政法人日本学生支援機構「平成28年度外国人留学生在籍状況調査等について」
(2016) <http://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student/data2016.html> 2017
年10月26日アクセス

＜参考資料1＞

ことわざと留学生に関するアンケート

日付： 2017年 月 日

あてはまる項目に○をしてください。

【年齢】 10代、20代、30代、40代、50代、60代以上

【性別】 男性、女性

【ご職業】 日本語教師、日本語教育関係者、教育関係者、会社員、主婦、学生（その他）

【お住まい】 京都、大阪、（その他）

質問1： あなたはことわざを留学生へ教えたことがありますか。

はい いいえ

質問2： はいの方はどんなことわざを教えましたか。また、どうしてですか。

具体的に教えてください。

質問3： 裏面のことわざより、留学生が知っていると便利だと思うことわざを3つ教えてください。番号を書いてください。

① _____

② _____

③ _____

（その他） _____

質問4： その理由を教えてください。

① _____

②

③

(その他)

質問5：留学生に知ってほしい生活習慣を教えてください。（複数回答可）

挨拶 ごみ分別 靴を脱ぐ 時間を守る 日本音を言う

(その他

質問6：その生活習慣をことわざで表せますか。具体的に教えてください。

質問7：あなたの好きなことわざを1つ教えてください。

質問8：その理由を教えてください

以下より、ことわざを選んでください。

- | | | |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|
| 1. 一石二鳥 | 25. 損して得取れ | 47. 口は災いのもと |
| 2. 三度目の正直 | 26. ただより高いものはな
い | 48. 反面教師 |
| 3. 寝耳に水 | 27. 立つ鳥あとを濁さず | 49. 人のふり見て我がふり
直せ |
| 4. 背水の陣 | 28. 短気は損氣 | 50. 仮の顔も三度まで |
| 5. 目白押し | 29. 灯台もと暗し | 51. 覆水盆に返らず |
| 6. 二の舞 | 30. 時は金なり | 52. 雨降って地固まる |
| 7. しのぎを削る | 31. 二兎を追うものは一兎
も得ず | 53. 親しき仲にも礼儀あり |
| 8. 絵に描いた餅 | 32. 能ある鷹は爪を隠す | 54. 十人十色 |
| 9. 背に腹は代えられぬ | 33. 早起きは三文の得 | 55. 罪を憎んで人を憎まず |
| 10. 棚からぼた餅 | 34. 始めが大事 | 56. 隣の芝生は青い |
| 11. 歯に衣きせぬ | 35. 早いが勝ち | 57. 残り物には福がある |
| 12. 二足のわらじ | 36. 百聞は一見にしかず | 58. 負けるが勝ち |
| 13. 良薬は口に苦し | 37. 目は口ほどに物を言う | 59. 類は友を呼ぶ |
| 14. 念には念を入れる | 38. 目は心の鏡 | 60. 笑う顔に矢立たず |
| 15. 犬も歩けば棒にあたる | 39. 物は相談 | 61. 風邪は万病のもと |
| 16. 花より団子 | 40. 物は試し | 62. 病は気から |
| 17. 塵も積もれば山となる | 41. 有言実行 | 63. 病は口より入る |
| 18. 明日は明日の風が吹く | 42. 来年の事を言えば鬼が
笑う | 64. 備えあれば患いなし |
| 19. 一年の計は元旦にあり | 43. 臨機応変 | 65. 石の上にも三年 |
| 20. 聞くは一時の恥聞かぬ
は一生の恥 | 44. 礼に始まり礼に終わる | 66. 上には上有がある |
| 21. 郷に入つては郷に従え | 45. 悪事千里を行く | 67. 繙続は力なり |
| 22. 善は急げ | 46. 嘘つきは泥棒の始まり | 68. 失敗は成功のもと |
| 23. 住めば都 | | 69. 知恵は武器にまさる |
| 24. 自業自得 | | 70. 習うより慣れろ |

71. 蒔かぬ種は生えぬ

72. 油断大敵

73. 楽あれば苦あり

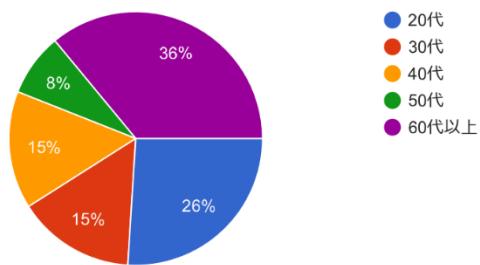
<参考資料2>

アンケート実施対象者

回答者の年齢は、60代が最も多く36%。続いて20代36%。30代から50代を合わせると63%。年代に幅がある。男女の割合は、女性が78%男性22%。女性の回答が多い。

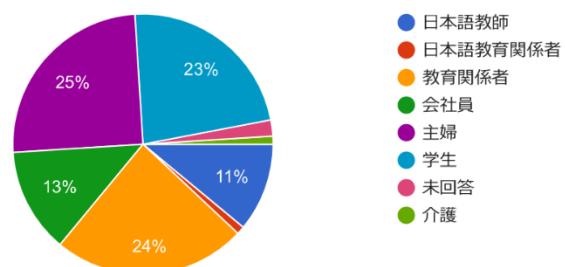
年齢

100件の回答



職業

100件の回答



<参考資料3>

- 中級の授業内でことわざを指導しているため教科書に沿ってその内容に合わせたものを教えました。(猫に小判、猫の額、猿も木から落ちる、馬耳東風、犬猿の仲)
- 新聞記事を読んだときにそこに出ていたことわざを教えました.

- 病は氣から、地獄の沙汰の金次第、一寸先は闇、犬も歩けば棒に当たる、一石二鳥
- にっちもさっちもいかぬ、失敗は成功の元、
- 一緒に小学校の国語学習のプリントを勉強しました
- Time is money 遅刻してきたからです
- 猫に小判、旅の恥は搔き捨て、罪を憎んで人を憎まず
- 人の噂も 7 5 日 : ことわざの授業で、取り上げました。他の国々も、似たようなことわざがあって、その国の人たちの考え方方が分かって面白いです。
- 善は急げ : 例えば、大学院の先生が会ってくれると言つても、なかなか返信しない学生がいるので、そうした時に、こうした言葉で諭します。
- 長い物には巻かれろ : 何か日本人の行動を表しているような言葉です。異文化コミュニケーションの授業で、会議で、上司が変な発言した時に、はっきり反対するのか、何も言わないのかという質問で、紹介しました。

<参考資料4 >

回答理由

- 外国と日本ではルールが違うと思うから
- その国を学ぶにはその土地の几帳を学ぶ
- 日本の習慣に慣れてほしいから
- 日本独特の文化を受け入れる
- 日本の良さを知ってもらう
- 日本独特の考え方や習わし等を知って習得することをよく表すことわざだと思う
- 親しくなっても相手への礼の気持ちを持って接することが大切
- 文化の違う国で生活するにあたって覚えておいてほしいと思うから
- 知っていれば話の輪に入れる

<参考資料5 >

ことわざを選出するにあたって考慮した日本語文型

